

目 次

巻 頭 言	「神戸フォーラム」の意義	梁 勝則	53
原 著	遺族期に起こる“スピリチュアルペイン”(1) -配偶者喪失遺族の生きる意味・生活の張り(生活充実感)の喪失-	宮林 幸江	56
	居住系施設が感じている施設内看取りに対しての困難感の検討	上林 孝豊、他	66
	がんに罹患した中等度から重度認知症高齢者の痛みの表現	久米 真代、他	72
	成人看護学演習でエンゼルケア・エンゼルメイクを取り入れた 学習の構造と特徴-テキストマイニングの解析から-	原 元子、他	84
	在宅ケアにおける連携りフレクシオン尺度の作成	藤田 益伸	92
	終の棲家に緩和ケア病棟を選択した終末期がん患者に 対するアドボケートとしての看護実践	森 京子	100
	在宅診療所に勤務するソーシャルワーカーの業務に関する質的研究	伊藤 綾乃、他	107
報 告	「在宅医療にかかる地域別データ集」からみえる 自宅死と老人ホーム死の現状	谷田 憲俊	111
短 報	栃木県における民間によるがん患者地域包括ケアの構築 ～地域におけるがん患者の看-看連携 第一報～	片見 明美、他	115
	在宅ホスピスの共同退院支援の現状と今後の課題 トータル・ヘルス・プランナーによる多職種連携	田實 武弥、他	119
フォーラム	《神戸フォーラム・プログラム、抄録・予稿集》 黒田裕子記念 神戸フォーラム2016プログラム		122
	当事者が語るがん医療 がん、ステージⅣのキセキ -苦しみから抜け出す方法を共に考える-	西村 元一、他	124
	大下大圓の臨床瞑想教室	大下 大圓	125
	関本雅子・安保博文のホスピスの授業	関本 雅子、他	130
	ディグニティーセラピー半日速習講座	船越 政江	132
	看取りと文化 ～看取りを生活の一環ととらえる文化を創ろう～	蘆野 吉和、他	133
	医療と体験者との連携を目指して	宮本 直治、他	139
	認知症と精神医療 ～当事者が本音で語る～	樋口 直美、他	146
	兵庫の緩和ケアエキスパートの連続講義(午前の部)	清水 政克、他	156
	認知症コミュニケーションのコツ ～レッツ ユマニテーション～	梁 勝則	162
	デスクカフェ午前の部：こう逝きたいから こう生きています	浦上久美子	163
	コウノメソッドで認知症の人も地域で暮らせる	河野 和彦	164
	兵庫の緩和ケアエキスパートの連続講義(午後の部)	新城 拓也、他	165
	ワールドカフェ：～いのちを繋ぐまちづくり～	成定 啓子、他	167
	ワークショップ「Death Cafe @Kobe」 ～お茶を飲みながら“死”について語り合う～	田中まひる	168
今月号には			ii
会 告			iii
投稿のご案内			iv